

著者紹介

古川 壽亮 Furukawa Toshiaki

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学教授、医学博士。1985年東京大学医学部医学科卒業、名古屋市立大学病院精神科臨床研修医、豊橋市民病院精神・神経科、南知多病院勤務を経て、1995年名古屋市立大学医学部精神医学講座助手、1997年カナダMcMaster大学医学部精神科客員教授併任、1999年名古屋市立大学医学部精神医学講座教授。研究歴・専門分野：専門は、感情障害の精神病理学・疫学・認知行動療法、社会精神医学、Evidence-Based Psychiatry。臨床疫学に関して6編、感情障害の精神病理学・社会精神医学に関して18編など約50編の英文原著論文のほか、「エビデンス精神医療：EBPの基礎から臨床まで」（医学書院、2000）、「標準精神医学」（医学書院、2000、共著）などに執筆。所属学会：Cochrane Collaboration、International Society of Affective Disorders、American Psychiatric Association。

加藤 活大 Kato Katsumoto

愛知県厚生連加茂病院院長、名古屋大学医学部臨床教授、医学博士。昭和42年名古屋大学医学部卒業、昭和47年名古屋大学大学院（医学研究科、第二内科）修了、昭和48年名古屋大学医学部第二内科助手、昭和50年愛知県厚生連加茂病院消化器科医長、昭和55年愛知県厚生連加茂病院内科部長、平成2年愛知県厚生連加茂病院副院長、平成12年愛知県厚生連加茂病院院長。研究歴・専門分野：組織学的診断に基づく諸種肝疾患の臨床的検討。所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会。

宇理須 厚雄 Urisu Atsuo

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科助教授、医学博士。昭和49年名古屋大学医学部卒業、昭和49年半田市立半田病院にて研修、昭和54年名古屋大学大学院（小児科学）修了、昭和54年トヨタ病院小児科勤務、昭和58年米国食品医薬品局(FDA)留学、昭和61年名古屋大学医学部小児科助手、昭和61年藤田保健衛生大学医学部小児科講師、平成7年藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科助教授。研究歴・専門分野：小児アレルギー。所属学会：日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会。

平林 憲之 Hirabayashi Noriyuki

名古屋第二赤十字病院第二内科部長、医学博士。昭和46年名古屋大学医学部卒業、昭和49年名古屋大学第一内科入局、昭和56年名古屋第二赤十字病院内

科勤務（血液内科部長）現在に至る。平成2年名古屋大学講師（医学部）兼任、現在に至る。研究歴：同種骨髄移植療法の開発（名古屋大学において1974年我国第一例目実施）以後、300例以上の同種造血細胞移植を行った。専門分野：血液疾患の治療学。所属学会：日本血液学会、日本臨床血液学会、日本輸血学会。

三浦 義孝 Miura Yoshitaka

名古屋大学大学院医学研究科病態内科学講座分子細胞内科学助手、医学博士。昭和59年名古屋大学医学部卒業、昭和61年名古屋大学大学院医学研究科入学、昭和62年～平成元年シカゴ大学マイケルリース病院留学、平成7年名古屋第二赤十字病院内分泌内科副部長、平成10年より現職。研究歴・専門分野：TSH糖鎖の研究、家族性TBG異常症の遺伝子解析発症機序の解明、I型糖尿病の発症機序の解明、進展予防の研究。所属学会：日本内科学会、日本内分泌学会、日本糖尿病学会。

安藤 文隆 Ando Fumitaka

アイケア名古屋院長、医学博士。昭和38年名古屋大学医学部卒業、1年間のインターンを経て昭和39年名古屋大学大学院眼科学専攻、大学院満了後岐阜県立多治見病院、静岡済生会病院眼科医長を経て、昭和48年7月名古屋大学眼科講師、昭和48年9月から1年間西ドイツEssen大学に留学、昭和60年11月国立名古屋病院眼科医長、平成13年3月国立名古屋病院を定年退官後現職。研究歴・専門分野：ぶどう膜、網膜、硝子体疾患を専門とし、同疾患の手術療法に力を入れて来たが、適切な治療法のない疾患の処理に特に情熱を燃やし、黄斑プロンベ、網膜鉢、難治例に対するシリコンオイルの使用法、重症糖尿病網膜症の硝子体手術法、難治性緑内障である血管新生緑内障のレーザー治療法など世界に通ずる治療法を開発。所属学会：日本眼科学会、日本糖尿病眼学会、日本緑内障学会。

篠田 鉄郎 Shinoda Tetsuro

篠田デンタルクリニック、医学博士。昭和60年大阪歯科大学卒業、昭和60年名古屋大学医学部口腔外科入局、平成2年名古屋大学大学院医学研究科修了、平成2年名古屋大学附属病院歯科口腔外科助手、平成4年開業。研究歴・専門分野：口腔領域の局所免疫能に関する研究、顎関節症の治療、インプラントによる顎機能の回復。所属学会：米国咬合学会（American Equilibration Society）、日本顎咬合学会、American Academy of Oral Medicine。